

[XAMPP版] 監視モニター

機能追加

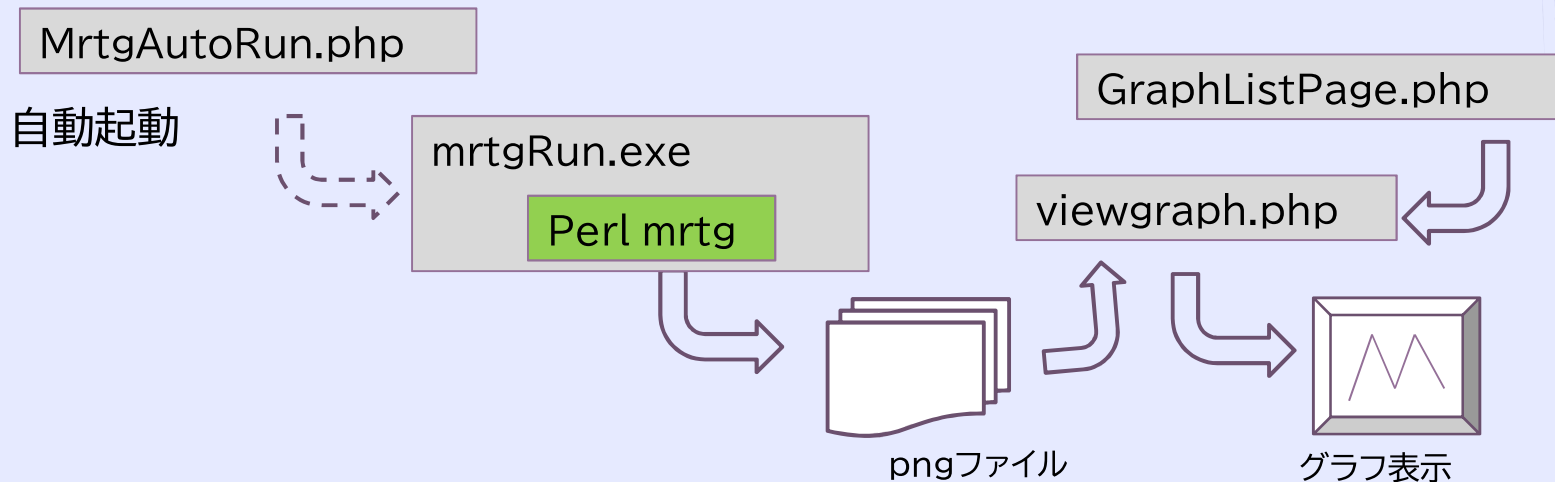
リソースグラフ機能
プロットグラフ機能

リソースグラフ機能

1 概要

○ リソースグラフの動作プログラム

| | |
|-------------------|--|
| MrtgAutoRun.php | 自動起動でmrtgRun.exeを呼び出す |
| mrtgRun.exe | perl mrtgでSNMPエージェントのCPU, RAM, DISKのデータを取得する |
| GraphListPage.php | 随時メニューから起動し表示グラフエージェントホストを選択する |
| viewgraph.php | 選択されたエージェントホストのグラフを表示する |



○ データ取得プログラム

| | |
|---------|------------------|
| CPU負荷率 | snmpcpuload.exe |
| メモリ使用率 | snmpramload.exe |
| ディスク使用率 | snmpdiskload.exe |

リソースグラフ機能

2. 初期設定

- vmsetup¥kanshiphp.iniに下記項目追加
vpath_mrtgbase=<vpath_mrtghome>注
注:vpath_mrtghomeは、newmrtg.cfgが存在するディレクトリ
監視アプリではmrtg.cfgをnewmrtg.cfgとして使用
vpath_mrtg=mrtg.exeのパス

3. データ収集・グラフ作成

- MrtgAutoRun.phpのリフレッシュ間隔で収集する
リフレッシュ間隔はモニターインターバル
参考:perl mrtgをタスクスケジューラで行うことも可能
- グラフは約30時間分のデータを扱う

4. グラフ表示

- メニュー「リソースグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックする

リソースグラフ機能

5. グラフ操作

5.1 グラフを作成登録する

- メニュー「リソースグラフ」選択、グラフ未登録のホストを選択、「グラフ登録」をクリック

図 5.1.1 グラフ登録

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

| ホスト | グラフ種類 | 表示名 | 状態 |
|---|--------------|-----------|--------|
| <input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19 | CPU;RAM;Disk | linuxsnmp | グラフ未登録 |
| <input type="radio"/> 192.168.1.155 | CPU;RAM;Disk | winsnmp | グラフ未登録 |

グラフ表示メール添付 **グラフ登録** グラフ削除

- MRTGグラフデータの収集間隔は、メニュー「管理情報」の監視間隔(秒)で変更可能

図 5.1.2 起動間隔

監視ホスト追加

監視ホスト修正

管理情報

ヘッダ情報

サーバー画像管理

監視間隔 SNMP間隔

120 30

送信先

mailuser@mydomain.jp

リソースグラフ機能

5.2 グラフを表示、メール添付する

- メニュー「リソースグラフ」選択、表示/メール添付するホストを選択、「グラフ表示/メール添付」をクリック

図 5.2.1 グラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果**
- リソースグラフ
- プロットグラフ

設定メニュー

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

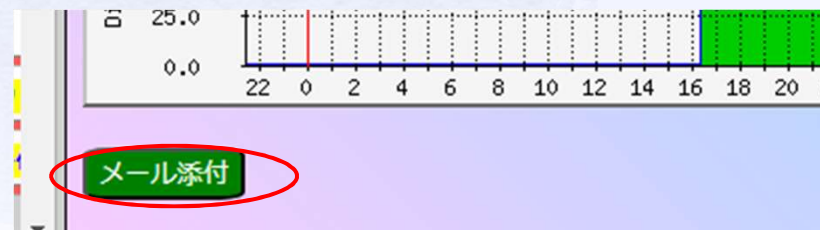
| ホスト | グラフ種類 | 表示名 | 状態 |
|---|--------------|-----------|--------|
| <input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19 | CPU;RAM;Disk | linuxsnmp | グラフ未登録 |
| <input type="radio"/> 192.168.1.155 | CPU;RAM;Disk | winsnmp | グラフ未登録 |

グラフ表示/メール添付 **グラフ登録** **グラフ削除**

図 5.2.2 MRTGグラフ



図 5.2.3 MRTGグラフメール送信



- メールに画像を添付して送信する
但し、ホスト情報のメールが「自動送信」であること

プロットグラフ機能

1. 概要

○ プロットグラフの動作プログラム

MrtgAutoRun.php

plotgraph.exe

GraphListPlotPage.php

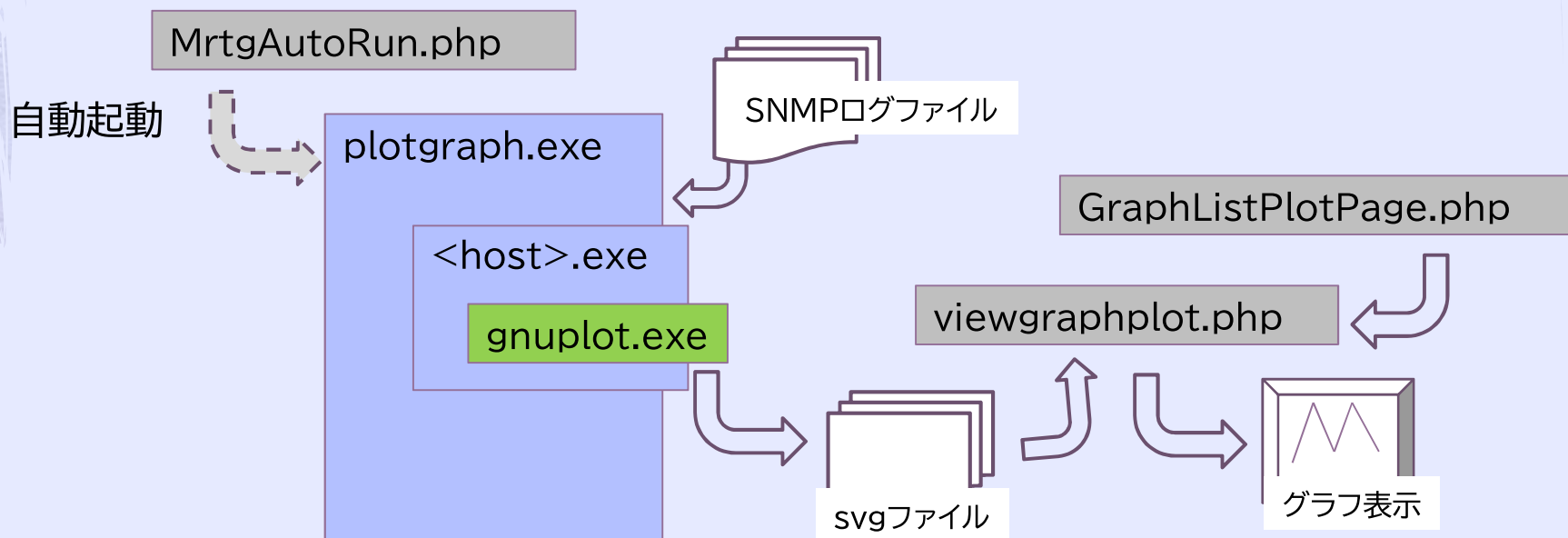
viewgraphplot.php

自動でplotgraph.exeを呼び出す

SNMPログからCPU,RAM,DISKのデータを取得する

随時メニューから起動し表示グラフエージェントホストを選択する

選択されたエージェントホストのグラフを表示する



プロットグラフ機能

2. 初期設定

- vmsetup¥kanshiphp.iniに下記項目追加
vpath_gnuplot=gnuplot.exeのパス

3. データ収集・グラフ作成

- MrtgAutoRun.phpのリフレッシュ間隔で収集する
リフレッシュ間隔はモニターインターバル
参考: plotgraph.exeをタスクスケジューラで行うことも可能
- グラフは約30時間分のデータを扱う

4. グラフ表示

- メニュー「プロットグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックする

プロットグラフ機能

5. グラフ操作

5.1 グラフを表示、メール添付する

○ メニュー「プロットグラフ」選択、表示／添付するホストを選択、「グラフ表示／メール添付」をクリック

図 5.1.1 プロットグラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果
- リソースグラフ
- プロットグラフ**

設定メニュー

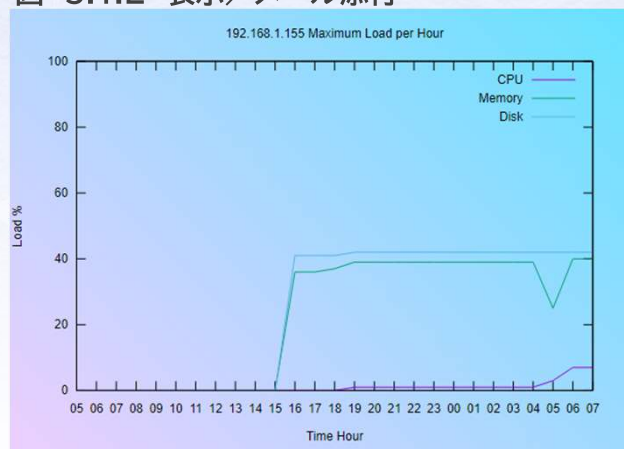
php ▼ プロットグラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示／メール添付」をクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要

| | ホスト | グラフ種類 | 表示名 | 状態 |
|----------------------------------|---------------|--------------|-----------|--------|
| <input checked="" type="radio"/> | 192.168.1.19 | CPU;RAM;Disk | linuxsnmp | グラフ作成中 |
| <input type="radio"/> | 192.168.1.155 | CPU;RAM;Disk | winsnmp | グラフ作成中 |

グラフ表示/メール添付

図 5.1.2 表示／メール添付



○ メール添付する場合は、「メール添付」をクリック

プロットグラフ機能概

6 その他

○ <host.exe>の引数

‘path=“<vpath_plathome>¥¥plotimage¥¥”,ghost=“<host>”’

○ mkplot.plt

set title ghost." Maximum Load per Hour"

set xlabel "Time Hour"

set ylabel "Load %"

set yrange [0:100]

set size 1 , 0.9

set terminal svg

set output path.ghost.".svg"

plot path.ghost.".ok" using 2:xticlabels(1) with lines title "CPU",

path.ghost.".ok" using 3 with lines title "Memory",

path.ghost.".ok" using 4 with lines title "Disk"

unset output

quit